

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年8月26日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東洋建設株式会社
所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
代表者役職・氏名	代表取締役 社長執行役員 C00 中村 龍由
担当者連絡先	電話：03-6361-5462
	メール：tanoue-yasuyuki@toyo-const.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.toyo-const.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は昭和4年に創業した総合建設業者であり、港湾工事、浚渫・埋立工事等の請負事業を営んでいます。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	作業船及び建設重機の省エネ化や燃料転換の推進、ZEB/ZEHの展開を推進し、温室効果ガス排出量を削減する。	① Scope 1, 2 排出量を2023年度比42%削減 ② Scope 3(カテゴリ1及び11)排出量を2023年度比25%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	多様な人財が価値観を共有し、協力してお互いを高めあう職場の実現に取り組む。	女性管理職数35名以上
✓環境 ✓社会 □経済	ブルーカーボン生態系の造成・再生に取り組む。	アマモ場造成面積3,000㎡(2030年度までの累計面積)

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 作業船からの油流出事故を防止するため、港湾・河川・湖沼工事や水域近接の建築工事において事故防止を目的とした教育を実施している。 ・ ブルーカーボン生態系保全に向けアマモ場造成や魚礁設置等の活動を行なう他、水鳥の飛来地造成等の提案、研究、施工を実施している。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 毎年発行する統合報告書の中で、環境関連の取り組みについて情報を開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 工事現場の仮設事務所の使用電力について、再生可能エネルギー由来の電力を導入している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 事務所で使用するコピー用紙について、FSC認証紙を調達している。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ ブルーカーボン生態系保全に向けアマモ場造成や魚礁設置等の活動を行なう他、水鳥の飛来地造成等の提案、研究、施工を実施している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 社会インフラの整備に貢献している。 ・ カーボンニュートラル社会実現に貢献する洋上風力発電について、施設建設コスト低減のため、着床式・浮体式双方の基礎工法の開発に取り組んでいる。また、海底ケーブルの敷設に必要なケーブル敷設船の新規建造を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 日本各地で河川や海岸の清掃活動を実施している。				4					9		11	12		14	15		17

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・障がい者の自立支援の一環として、アート作品の工事現場での仮囲いの掲示や、自社ノベルティに採用している。 ・経済的に困難な小中学生の親子を対象にした東京港見学会を毎年開催している。 ・本社に寄付型自動販売機を設置している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営目標（年度計画）にSDGsのアイコンを使うなど、社内共有をしている。また、全職員を対象にしたサステナビリティ、SDGsの研修（e-ラーニング）を毎月実施し、理解促進を図っている。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・当社の行動規範、行動指針に基づき、コンプライアンスマニュアルに反社会的勢力の排除、不正競争行為の防止等を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携帯させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・安全環境部で環境基本計画を毎年策定し、温室効果ガス排出削減や、水質汚濁防止、騒音振動公害防止活動の実施、支援を行っている。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・機関投資家等との対話を通して得た意見は、適時適切に経営者にて伝え、当社の中長期的な経営方針等の策定に際しての参考としている。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・リスク管理規程を制定し、リスク項目管理表にてリスクの特定、評価を行っている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・経営理念、行動規範、サステナビリティ基本方針などに基づいた事業活動を行うことで、社会課題解決への貢献に取り組んでいる。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画（BCP）を策定し、社内周知している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・定年後再雇用制度を導入しており、次世代への技術の伝承を図っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
 ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。